

ふたば

初夏号



患者相談窓口設置しました



患者相談窓口では、患者さまやご家族の方からの医療に関する様々な相談をお受けし、専門の相談員により対応を行っています。ご心配やお困りのこと、お気づきなどございましたらお気軽に、総合案内または入退院センターへお立ち寄りください。

相談やご要望等は、内容に応じた適切な部署や職種と連携をとり、公正・公平な問題解決ができるよう努めてまいります。内容については、秘密を厳守し、相談により不利益を受けないよう適切に配慮致します。

食中毒予防



梅雨や夏場のシーズンは食中毒が多く発生します

! 腐っていない食べ物でも食中毒を起こす可能性あり！

食中毒は腐敗が進むよりも少ない菌の数で発症するため、食品の見た目・臭いでは食中毒発症の有無は判断できません。一般に食中毒の原因となる細菌などは高温多湿を好むため、梅雨や夏場に多く起こるので、この時期は食中毒にかからないように注意が必要です。

! 食中毒予防の3原則「つけない」「増やさない」「やっつける」

「つけない」・・・手や食材をよく洗いましょう。

「増やさない」・・・食材は低温保存しましょう。細菌の多くは10℃以下で増殖がゆっくりとなり、マイナス15℃以下で増殖が停止します。

「やっつける」・・・加熱処理！ほとんどの細菌は加熱によって死滅します。肉や魚、野菜なども加熱して食べれば安全です。調理器具も熱湯殺菌を忘れないようにしましょう。

食中毒かなと思ったら・・・

- おう吐や下痢の症状は、原因物質を排除しようという体の防御反応です。
- 市販の下痢止めなどの薬をむやみに服用せず、早めに医師の診断を受けましょう。

食中毒予防だけでなく様々な感染症の予防のためにも手洗いは丁寧に行いましょう！

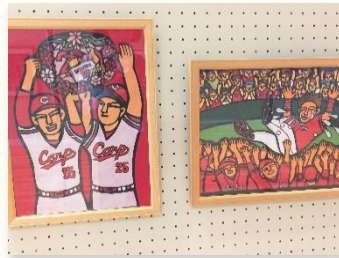


トピックス

5/18 ~ 6/30

絵本の原画展開催しました！

カープ・新井選手のノンフィクションストーリー「新井貴浩物語」絵本の原画展を一か月半に渡り開催しました。多くの外来患者さまにご覧いただき、新聞記事などを見てわざわざ足を運んでくださった地域の方もいらっしゃいました！今後も院内イベントは、ホームページ等で告知させていただきますので楽しみに♪



パワフルで優しい切り絵作家の吉田さんに、入院患者さま向けの読み聞かせイベントも行っていただきました！



図書スペース設置

当院の職員が本・雑誌を持ち寄り、2階のフリースペースに「すみれ文庫」を設置しました。小児科の廊下には絵本をメインに「さくら文庫」も設置しています。待ち時間やご休憩の際にぜひご利用ください。

2階の広々としたフリースペースでは飲食もできます♪



新任医師紹介

平成29年4月~7月に着任しました5名の常勤医師です。

眼科 部長

たなか あやか
田中 文香



ガイドラインに基づいた医療を行い、患者さまとのコミュニケーションを大切にしております。白内障手術はもとより、広島大学と協力して緑内障手術にも力をいれ、地域医療に貢献したいと考えております。

産婦人科 部長

ほんだ ひろし
本田 裕



産婦人科医療が多様化するなか、周産期医療や婦人科腫瘍を中心に様々な疾患に対応出来るよう努めております。特に、出生前診断や婦人科悪性腫瘍、婦人科内視鏡手術を専門としております。

リウマチ・膠原病内科 医長

ふなき まさと
舟木 将雅



これまでリウマチ膠原病疾患、呼吸器疾患全般の診療をしてきました。リウマチ専門医と呼吸器専門医の両方の立場から根拠に基づいた治療と安全で有効性の高い治療を選択し診療を行ってまいります。

整形外科 医長

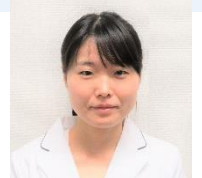
もりさこ たいき
森迫 泰貴



平成29年4月より着任しました。よろしくお願い致します。

皮膚科 医長

みずの まき
水野 麻紀



丁寧な診療を心がけ、みなさまに貢献できるよう努力したいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

在職中はお世話になりました。

3月末退職 眼科 渡邊 道夫 小児科 河野 一輝
皮膚科 横林 ひとみ 整形外科 数佐 洋美
6月末退職 産婦人科 藤本 英夫 / 小松 正明

〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目1番36号
TEL 082-262-1171(代表)

医療法人 JR 広島病院

MEDICAL CORPORATION JR HIROSHIMA HOSPITAL

